

特 集

奉行クラウド いよいよ 始動。

世界トップレベルの
セキュリティで、すべての業務と
つながるひろがる業務プラットフォーム



第39期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

証券コード：4733

 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「勘定奉行」をはじめ、
企業に必要な基幹業務システム「奉行シリーズ」の
開発、販売および保守・導入指導等を行っているソフトウェアメーカーです。

OBCのコアコンピタンス

- 1 企業業務(会計・人事・給与等)の業務サービスにフォーカスする
- 2 中堅および中規模・小規模企業にフォーカスする
- 3 マイクロソフトのテクノロジーにフォーカスする
- 4 パートナー戦略にフォーカスする
- 5 ブランド戦略にフォーカスする

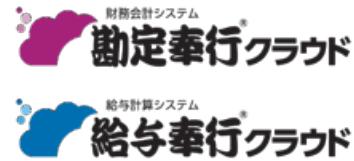
OBCのクラウド製品

■ 奉行クラウド(中小企業)

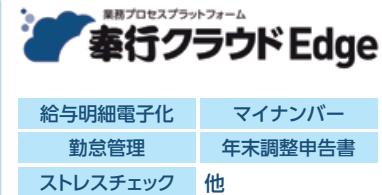
統合業務プラットフォーム



バックオフィス業務 プラットフォーム



業務プロセス プラットフォーム



■ 統合クラウドERP(中堅企業)

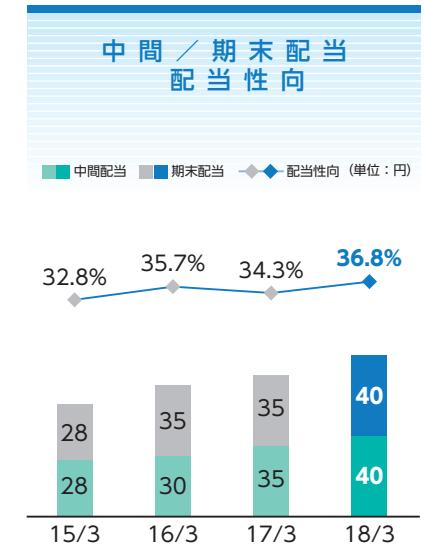


安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術で
お客様のニーズにお応えしてまいります。

導入シェアNo.1の奉行シリーズ
導入実績累計 **56万社** 突破
※平成30年3月現在

顧客満足度調査 2017-2018
日経コンピュータ 2017年9月14日号
顧客満足度調査 2017-2018 ERPパッケージ部門 1位
4年連続 第1位 (2014~2017)

当期の業績ハイライト





代表取締役社長

和田 成史

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。この度、第39期のご報告をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

当社は「顧客第一主義」を念頭に、主に中堅および中規模・小規模企業向けに、企業の基幹業務システムを支えるソフトウェアメーカーとして、ソリューションの開発、販売および保守サービスを提供しております。

この度、当社では、IT環境の変化に伴い、ますます加速するクラウドへのニーズを踏まえ、『クラウドファースト』へと大きく舵を切り、「奉行クラウド」を本格的に始動させました。これからも、パートナー企業と足並みを揃えて、お客様のために本当に役立つサービスをお届けしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当期の概況について

お客様のクラウドニーズにお応えする「奉行クラウド」をリリースしました。

2018年3月期(当期)におけるわが国経済は、国内外の政治・経済情勢の不透明感から、慎重な見方は根強いものの回復傾向にあります。また同時に、各企業においては、引き続き人手不足の解消や生産性の向上を模索している状況にあり、当社の属する情報サービス産業においても、依然として企業が抱えるこれらの課題を解決するためのシステム更新需要に注目が集まっております。

このような経済環境のもと、当社は創業以来「顧客第一主義」を念頭に置き、企業の業務とユーザーの「使いやすさ」にフォーカスした製品・サービスの開発およびサポート体制の構築に注力してまいりました。

上期では、「OBCパートナーカンファレンス2017」を開催しパートナー様と戦略を共有することで、ユーザー様の幅広いニーズにお応えするサービスを提供してまいりました。また、下期に「働き方改革」を「体感する」をテーマに開催した「奉行フォーラム2017」では、企業の特徴に合わせた働き方改革を実現するための手法を実際の機器に触れながら体感していただきました。

そして、2018年2月に多くのお客様のご要望にお応えした完全SaaS*型クラウド製品として、待望の「奉行クラウド」をリリースいたしました。

「奉行クラウド」は、サーバー不要によるコストの削減や法令改正に伴うプログラム変更の自動更新、会計士や税理士などの専門家とリアルタイムな情報の共有など、特に中小企業の大きなサポートになると確信しています。

来期の見通しと対策について

「奉行クラウドEdge」の投入で、企業業務のつながるビジネスを支援します。

昨今のIT業界においては、基幹業務システムに加え、多様な業務プロセスにおいても、利便性・効率性から“クラウド化”が主流となってきています。

このような状況に対応すべく、OBCがリリースしました「奉行クラウド」は、世界最高水準のセキュリティを誇る日本マイクロソフト社のクラウドプラットフォーム(Microsoft Azure)を採用し、安全性はもちろんデータの信頼性や操作性の高さが約束された製品となっています。

さらに、従来からご好評いただいております「業務サービス」を、多彩な業務プロセスに対応する「奉行クラウドEdge」として投入し、「奉行クラウド」とともに企業業務のすべてがつながる統合型クラウドシステムとして提案してまいります。

そして、2018年4月から「サービス等生産性向上IT導入補助金」制度が始まり、「奉行シリーズ」も補助金の対象製品に選定されました。こうした制度の活用や社会のクラウド化の波を追い風として受け止め、来期は企業業務全体を包括する製品として「奉行クラウド」および「奉行クラウドEdge」の拡販を図り、人材育成とビジネスモデル構築の両面から営業力やサポート力を強化し、お客様の高まるニーズに合わせたサポート＆サービスの提供に努めてまいります。

*SaaSとは：クラウドサービスの形態の1つ。ソフトウェアをインターネット経由でサービスとして提供・利用する形態のこと。奉行クラウド、奉行クラウドEdgeがこの形態にてサービスを提供している。

特集

クラウド会計ソフトの大本命

奉行クラウド 登場!!

次世代の顧客ニーズを見据えて、OBCの「奉行シリーズ」が、本格的なSaaS型の統合業務クラウド・プラットフォーム「奉行クラウド」へと進化。

加速するクラウドへの市場ニーズに応え
機能性プラス万全のセキュリティ対策を実現。
時代の流れをリードする「奉行クラウド」。

会計士・税理士も推奨、
ビジネスの広い範囲で
流れはクラウドへ。

昨年の『奉行フォーラム』の顧客分析で、クラウド化への要望が過半数を超えました。特に中小企業では、その傾向が顕著です。

会計士・税理士も、リアルタイムな情報共有によるビジネスの改革を推奨しています。

業務サービス分野での
独自のSaaS製品の
順調な実績がベース。

『マイナンバーサービス』など、OBCはSaaS型の業務サービス製品で数多く実績を重ねてきました。

この豊富なノウハウを、基幹業務システムに反映し、高安全性と高パフォーマンスで柔軟に対応する土壌が整いました。

日本マイクロソフト社との
連携強化で、最新の
クラウドサービスを実現。

OBCは、日本マイクロソフト社と連携し、クラウドプラットフォーム (Microsoft Azure) の適用範囲を広げてきました。

安全性に加え、快適な機能性・拡張性で、多彩なコミュニケーション&コラボレーションが実現可能となっています。

世界トップレベルのセキュリティと、
顧客満足度No.1の基幹システムを組み合わせた
安心で生産性の高い業務を可能にする
バックオフィス業務プラットフォーム「奉行クラウド」

「奉行クラウド」は、
ココがちがいます。

01 | 世界トップレベルのセキュリティ

02 | 専門家と常につながる生産性の高さ

03 | 圧倒的な操作性とスピードの業務効率

奉行クラウド その真髄

新ブランド

奉行クラウド 本格的SaaSモデル

2018年2月23日リリース開始



まずは基幹となる2つの製品から

財務・経理部門のあらゆる業務に対応する会計システム「勤定奉行クラウド」、給与業務をより早く正確に自動化できる給与計算システム「給与奉行クラウド」を先行販売いたしました。クラウドであることを感じさせない操作性、スピード感、機能性に加えて信頼性や将来の拡張性も備えた業務プラットフォームの新基準です。2018年秋以降には、その他の製品も続々とリリースされる予定です。

01 | セキュリティ

世界トップレベルのセキュリティ

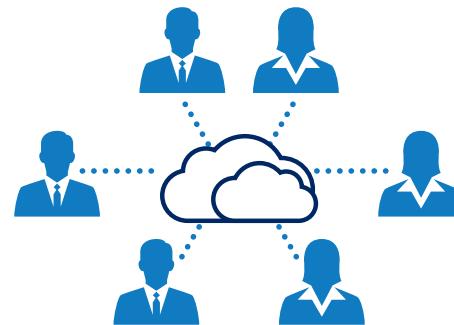
Microsoft Azure



「奉行クラウド」は日本マイクロソフト社との連携強化で、世界トップレベルのセキュリティを誇るクラウドプラットフォーム (Microsoft Azure) を採用しています。お客様の大切なデータは、災害対策環境が整備された国内2拠点のデータセンターで厳重に管理され、安心・安全に運用いただけます。また、24時間365日の運用監視や、定期的な脆弱診断による万全の安全対策により、高セキュリティを実現しています。

02 | 常につながる

専門家と常につながる生産性の高さ



会計士・税理士、社会保険労務士などの専門家と利用できる「専門家ライセンス」を提供しています。そのため、専門家と常に最新で正確な基幹データを共有しつつ経営のアドバイスを受けられるなど、格段に進化したコミュニケーションが図れます。また、さまざまなシステム、データと連携することで、業務の生産性が大幅に向上します。

03 | 圧倒的効率性

圧倒的な操作性とスピードの業務効率

業務の操作性・運用性を飛躍的に高めるマイクロソフト社の最新テクノロジーにより、快適な操作性と使いやすさを高いスピードで実現しています。

制度改正に伴うプログラムも自動更新されますので、業務専門職以外の方でも運用の負担なく利用できます。

いつでも、どこでも使えます	シンプルでセキュアにアクセスできます	誰でも、かんたんに使えます
接続が切れても、オフラインで使えます	サーバーレスで、管理負担がなくなります	プログラムの更新が不要です
バックアップも不要です	手厚いサポートで安心です	AI、ビッグデータ、Fintech等、最新技術に対応します

2018年秋以降 続々提供開始予定



延べ500万人が利用

「業務サービス」が「奉行」に仲間入り！
「奉行クラウドEdge」ですべてがつながります。

「奉行クラウドEdge」は、企業内に存在するさまざまな業務プロセスを標準化してつなぎ、従業員とバックオフィス部門双方の生産性を高めるプラットフォームです。従業員の利用を前提とした操作性・機能性で、幅広い業務の改善にご活用いただけます。

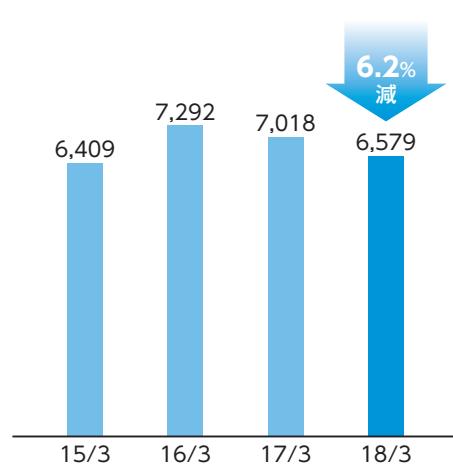


(ほか)

事業別の状況

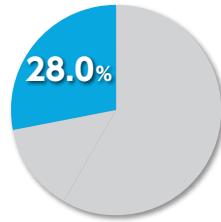
ソリューションテクノロジー

(単位:百万円)



◆当期の状況

ソリューションテクノロジー部門は、Standalone製品のバージョンアップの減少により売上が減少しました。この結果、売上高は65億79百万円(前期比6.2%減)となりました。

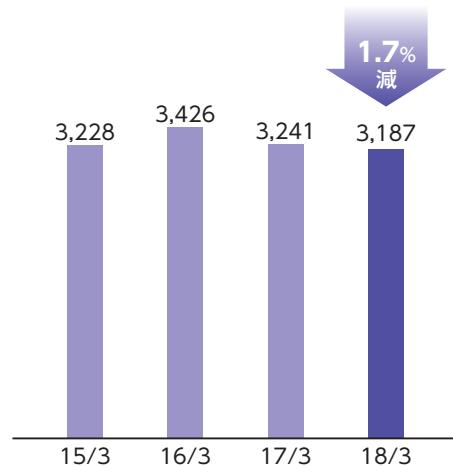


❖事業内容

中堅および中規模・小規模企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするソフトウェアを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインアップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のソフトウェアは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

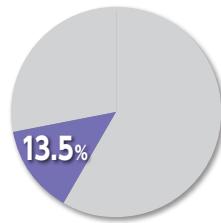
関連製品

(単位:百万円)



◆当期の状況

関連製品部門は、奉行サプライの減少により売上が減少しました。この結果、売上高は、31億87百万円(前期比1.7%減)となりました。

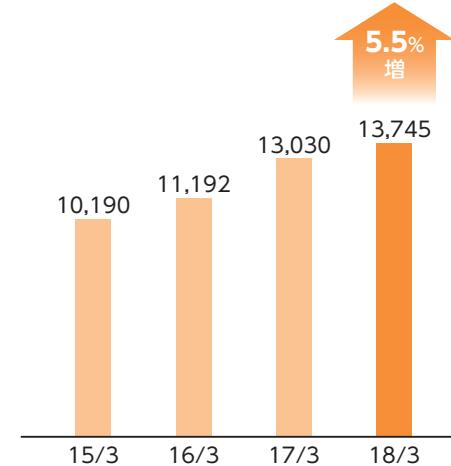


❖事業内容

「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

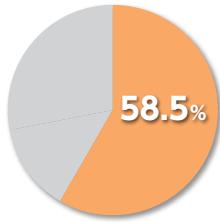
サービス

(単位:百万円)



◆当期の状況

サービス部門は、法制度改正による保守契約やインストール・指導致料収入、および業務サービスの新規・ライセンスアップ売上が寄与しました。この結果、売上高は、137億45百万円(前期比5.5%増)となりました。



❖事業内容

システム導入後のユーザーサポートを目的とした「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」を提供。また、基幹システムの範囲を超える業務を補う「OMSS+業務サービス(現「奉行クラウドEdge」)」を多種展開。お客様目線に立ったきめ細かなサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

次期の見通し

情報サービス産業におきましては、人手不足の解消や生産性の向上などの課題を解決するためのシステム、特にクラウド環境への移行は必然的と推測されます。

当社では「顧客第一主義」の理念のもと、まず、2018年2月に発表した完全SaaS型クラウド製品「奉行クラウド」を、さらに発展させて次世代の製品の提供を続けてまいります。

また、「業務サービス(奉行クラウドEdge)」の充実をともに進めることにより、お客様パートナー企業との安定かつ長期的な取引関係を構築しつつ、多彩なニーズに合わせて企業業務全体を包括する製品として拡販してまいります。

◆2019年3月期業績予想

(単位:百万円)

	金額	前期比
売上高	25,000	6.3%増
営業利益	10,600	8.9%増
経常利益	11,600	3.6%増
当期純利益	8,536	4.5%増

財務諸表

貸借対照表 (単位:千円)

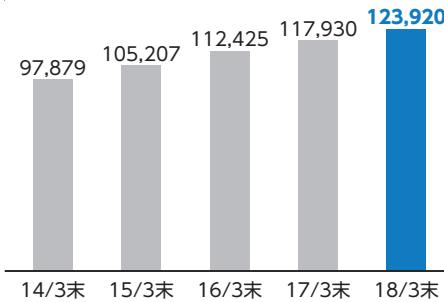
※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第38期末 平成29年3月31日現在	第39期末 平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	89,560,226	95,979,880
固定資産	28,370,388	27,940,310
有形固定資産	477,488	537,014
無形固定資産	418,059	453,912
投資その他の資産	27,474,840	26,949,383
資産合計	117,930,615	123,920,190

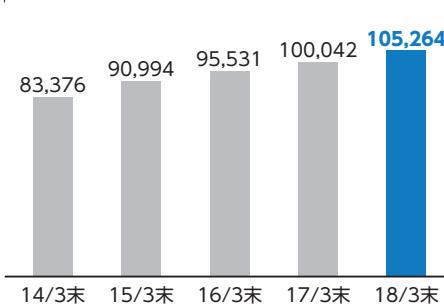
負債の部		
流動負債	13,835,996	14,954,388
固定負債	4,052,473	3,701,173
負債合計	17,888,470	18,655,562

純資産の部		
株主資本	90,323,562	95,676,776
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	66,204,172	71,557,652
自己株式	△5,348,878	△5,349,143
評価・換算差額等	9,718,582	9,587,851
その他有価証券評価差額金	9,718,582	9,587,851
純資産合計	100,042,145	105,264,628
負債純資産合計	117,930,615	123,920,190

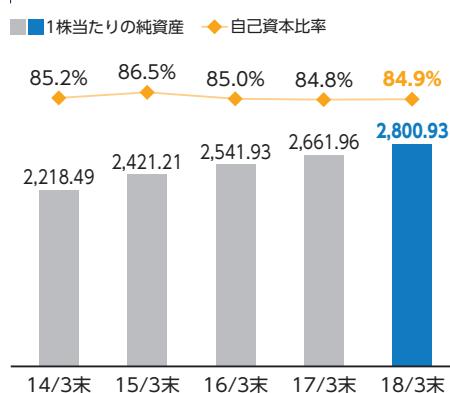
総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



1株当たりの純資産/自己資本比率 (単位:円)



損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第38期 平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	第39期 平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	増減額
1 売上高	23,290,465	23,513,216	222,751
売上原価	3,543,925	3,668,870	124,944
売上総利益	19,746,539	19,844,346	97,807
2 販売費及び一般管理費	9,792,368	10,107,332	314,964
営業利益	9,954,170	9,737,013	△217,157
3 営業外収益	1,158,653	1,461,769	303,115
営業外費用	117,491	536	△116,955
経常利益	10,995,332	11,198,246	202,914
特別利益	6,677	-	△6,677
特別損失	46,740	29,819	△16,921
税引前当期純利益	10,955,269	11,168,427	213,158
法人税、住民税及び事業税	3,161,554	3,467,094	305,540
法人税等調整額	123,822	△470,803	△594,625
当期純利益	7,669,892	8,172,135	502,243

キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第38期 平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	第39期 平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	増減額
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,676,993	8,115,910	△561,083
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	5,565,558	516,218	△5,049,339
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,631,253	△2,819,210	△187,956
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,611,297	5,812,918	△5,798,379
現金及び現金同等物の期首残高	69,689,288	81,300,586	11,611,297
現金及び現金同等物の期末残高	81,300,586	87,113,504	5,812,918

CHECK POINT

- 1 売上高**
奉行保守契約料が伸長したことにより、売上高に占めるサービス売上が増収となりました。
- 2 販売費及び一般管理費**
販管人件費及び研究開発人件費が増加しました。
- 3 営業外収益**
投資事業組合運用益が増加しました。

CHECK POINT

- 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**
税引前当期純利益の計上額11,168百万円および法人税等の支払額3,155百万円が主な内容となります。
- 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**
投資有価証券の売却による収入が前期は6,053百万円でしたが、当期は945百万円でしたので、減少となりました。
- 6 財務活動によるキャッシュ・フロー**
配当金の支払額2,818百万円が主な内容となります。

株式の状況

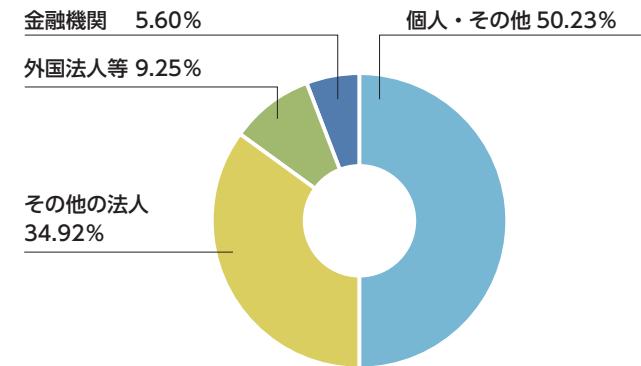
発行可能株式総数	161,408,000株
発行済株式の総数	40,352,000株
株主数	3,159名

■大株主 (上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	13,589	36.16
和田成史	11,556	30.75
和田弘子	2,616	6.96
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT	1,081	2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	486	1.29

※持株比率は自己株式(2,769千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※自己株式2,769,940株は、「個人・その他」に含めております。

企業プロフィール

■会社概況

商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月12日
資本金	10,519,000千円
従業員数	739名

■役員 (平成30年6月25日現在)

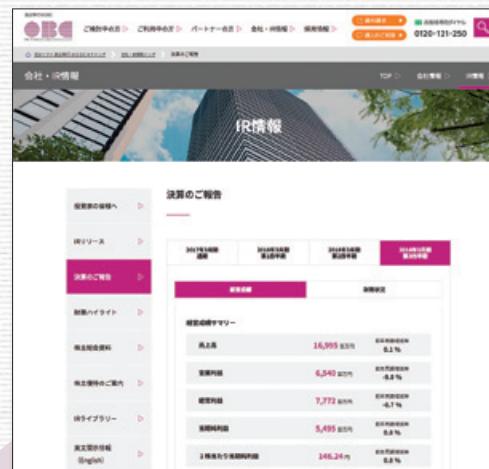
取締役会長	野田 順弘
代表取締役社長	和田 成史
専務取締役	和田 弘子
常務取締役	中山 茂
取締役	唐 鎌 勝彦
取締役	荻 野 俊夫
取締役	橘 昇一
取締役	伊 東 千秋
取締役	沖 原 隆宗
取締役	川 西 篤
常勤監査役	黒 凶 成一
監査役	高 橋 郁雄
監査役	井 坂 眞持

■主要事業拠点

本社/東京営業部	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オーフタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F

IRページが
充実!

当社IRサイトのご案内



決算のご報告

<https://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report>

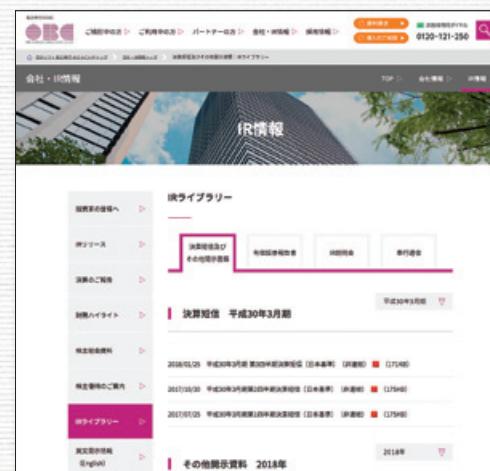
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。



財務ハイライト

<https://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>

四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。



IRライブラリー

<https://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>

有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。

株主様アンケートがWebからも可能に

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、キャンペーンコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お寄せいただいたご意見は、今後の会社運営の参考として大切に扱わせていただきます。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケートの締切:平成30年7月31日まで



<https://smartweb.eventissimo.jp>

キャンペーンコード **6635201803311**



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 SMarTWeb専用ダイヤル
0120-192-345(フリーダイヤル)(受付時間:土日祝日を除く9:00~17:00)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株主様の口座がある証券会社等へお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、左記の電話照会先をお願いいたします。

■ 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<http://www.obc.co.jp/>